

1. 科目名 (単位数)	教育方法論 (ICT 活用含む) (2 単位)	3. 科目番号	EDTS2104
2. 授業担当教員	垣崎 授二		
4. 授業形態	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・他科目との関係	教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)		
7. 講義概要	「学習指導要領」の改訂により、各教科、総合的な学習の時間等の授業改善が求められている今日、教師は「よりよい授業づくり」のために、さまざまな教育方法を学ぶことが求められています。この授業では、基本的な指導方法・学習方法及び情報機器及び教材の活用に関する基礎的な知識・技能について学修するとともに、その方法の効果・問題点を整理し、教育実習時の授業場面に役立つ教育の(方法)を身につけることを目的とします。具体的には、授業場面の事例をもとに、(方法)への理解を深めると同時に、その工夫・改善のあり方について検討します。その上で、グループワークによる「模擬授業」を実施し、「授業づくり」の過程におけるPDCAサイクル(Plan [企画]-Do [実行]-Check [評価]-Action [改善])を体験的に学びます。		
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 中学校・高等学校教諭等を目指す学生に求められる基本的な教授学習理論を理解し、重要な用語について説明することができる。 2. 基本的な指導方法・学習方法を理解した上で、教育現場で実践されているICTの活用事例や情報通信技術を効果的に活用した学習指導や校務の推進を学び、「模擬授業」において実際にその方法論にもとづいた指導案を作成し、授業を展開することができる。 3. 自ら実施した(あるいは他の受講生が実施した)「模擬授業」の問題点を検討し、次の授業に生かすことができる。 		
9. アサイメント(宿題)及びレポート課題	学習前に教科書を読んでくれることが好ましい、最低限前時に配布した課題プリントはやってくること。レポートについては、講義の中で説明を行うが夏季休暇の前に1000字程度、期末に1500字程度のレポートを提出する。		
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】 田中耕治・鶴田清司・橋下美保・藤村宣之『新しい時代の教育方法 改訂版』有斐閣アルマ、2019年 有斐閣 【参考書】 中学校学習指導要領(平成29年3月告示 文部科学省) 高等学校学習指導要領(平成29年3月告示 文部科学省) 生徒指導提要(令和4年12月告示 文部科学省) その他必要に応じてプリントを配布する。		
11. 成績評価の規準と評定の方法	●成績評価の規準(学習目標) 基本的な教授学習理論を理解し、専門教科の授業づくりに生かし、模擬授業を実践し、授業改善に結びつけることができる。 ●評定の方法 <ol style="list-style-type: none"> 1 日常の授業態度(参加態度、発表・発言、学習状況等) 40% 2 課題レポート 30% 3 期末試験 30% 		
12. 受講生へのメッセージ	中学校・高等学校における教育の方法の歴史と理論を体系的に概観し、教育の様々な方法とその意味についていっしょに考えましょう		
13. オフィスアワー	初回講義時に通知する		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	オリエンテーション -授業の進め方・教育方法論を学ぶ意義- ・「主体的・対話的で深い学び」と教育方法論の関係について調べ、授業改善の意義について話し合い、発表しあう。	事前学習	教科書「序章」(pp.1~8)と結論(pp.283~284)を読んでおく。
		事後学習	教育方法を学ぶ意義について考える。本時の授業のポイントをチェックしておく。 授業後感想を提出。
第2回	西洋における教育思想と教育方法の歴史 ・現在の学校教育の自明となっている授業実践の成立過程と特徴について理解し話し合う。	事前学習	教科書「第1章」1・2(pp.11~29)を読み、分からない部分をチェックしておく。
		事後学習	授業内容やグループ討議で話し合ったことをチェックしておく。分からなかったところがあれば教員に質問する。 授業後感想を提出。
第3回	日本における教育改革と教育方法の歴史 ・日本の教育理念や教育制度が近代化していく過程を理解する。現代にもつながる課題について話し合う。	事前学習	教科書「第2章」(pp.44~71)を読み、分からない部分をチェックしておく。
		事後学習	授業内容やグループ討議で話し合ったことをワークシートにまとめ、分からなかったところがあれば教員に質問する。 授業後感想を提出。
第4回	子どもは何を学ぶか(第4章) 現代的な諸課題について調べ、課題解決のための見方・考え方を豊かにする方法について理解して話し合う。	事前学習	教科書「第4章」(pp.103~120)を読み、分からない部分をチェックしておく。
		事後学習	授業内容やグループ討議で話し合ったことをワークシートにまとめ、分からなかったところがあれば教員に質問する。 授業後感想を提出。

第5回	学習とは何か(第5章) 「学ぶ」ことを考えると同時に、学びの変化について、ICTの活用がもたらした影響について話し合う。 ・特別な支援を要する生徒が「学ぶ」なかで、今後学習するICT活用等における留意すべきことも、併せて理解する。	事前学習	教科書「第5章」(pp.121~141)を読み、分からない部分をチェックしておく。
		事後学習	授業内容やグループ討議で話し合ったことをワークシートにまとめ、分からなかったところがあれば教員に質問する。授業後感想を提出。
第6回	学力をどう高めるのか(第6章) 学力の三つの柱を高めるために、各教科の学習の特性を知るとともに、ICTを活用した効果的な事例について調べ、まとめる。 ・ICT活用が学力を高めるための一助となる指導事例を提示し理解すると同時に、基礎的な指導法をも身に付ける。	事前学習	教科書「第6章」(pp.143~168)を読み、分からない部分をチェックしておく。
		事後学習	授業内容やグループ討議で話し合ったことをワークシートにまとめ、分からなかったところがあれば教員に質問する。授業後感想を提出。
第7回	授業をどうデザインするか(第7章) 授業をデザインするにあたって、ICTを積極的に使い、効果的な授業を展開する事例を調べる。 ・ICT活用がどのように関わっていくのか理解すると同時に、基礎的な指導法をも身に付ける。	事前学習	教科書「第7章」(pp.169~200)を読み、分からない部分をチェックしておく。
		事後学習	授業内容やグループ討議で話し合ったことをワークシートにまとめ、分からなかったところがあれば教員に質問する。授業後感想を提出。
第8回	教育の道具・素材・環境を考える(第8章) ギガスクール構想を調べ、学校での情報機器・ICTの活用が授業方法を変化させている状態を調べる。 ICTが活用されることにより、道具・素材・環境がどのように変化していくのかについても理解する。	事前学習	教科書「第8章」(pp.200~222)を読み、分からない部分をチェックしておく。
		事後学習	授業内容やグループ討議で話し合ったことをワークシートにまとめ、分からなかったところがあれば教員に質問する。授業後感想を提出。
第9回	何をどう評価するのか(第9章) 学習履歴等の教育データ活用の指導や学習評価の活用におけるICT活用および教育情報セキュリティの重要性についても理解する。	事前学習	教科書「第9章」(pp.223~244)を読み、分からない部分をチェックしておく。 授業後感想を提出。
		事後学習	授業内容やグループ討議で話し合ったことをワークシートにまとめ、分からなかったところがあれば教員に質問する。授業後感想を提出。
第10回	教科外教育活動を構想する(第10章) 「集団・自治活動」「文化活動」「相談活動」の役割や今日的課題について理解して話し合う。	事前学習	教科書「第10章」(pp.246~262)を読み、分からない部分をチェックしておく。
		事後学習	授業内容やグループ討議で話し合ったことをワークシートにまとめ、分からなかったところがあれば教員に質問する。授業後感想を提出。
第11回	学習指導案の作成① 総合 *グループ毎に学習指導案(略案)を作成 ・学習指導案を作成する際、ICT活用(情報モラルを含む)についての内容を理解するとともに、各教科の特性に応じた指導事例を理解し、基礎的な指導法を身に付ける。	事前学習	配付資料「学習指導案の実際」を熟読してくること。
		事後学習	学習指導案の様式について理解し、学習指導案(略案)をグループで作成する。 授業後感想を提出。
第12回	グループワークによる模擬授業 総合 ・第11回で学んだことを本授業で実践し、再度理解するとともに、遠隔・オンライン教育の意義や関連するシステムの使用法を理解している。	事前学習	グループ毎に模擬授業の準備と予行演習をする。準備には、情報機器の活用について検討する。
		事後学習	グループで実施した模擬授業の問題点を検討し、他の受講生から得たことを含め、自らの学習指導案(略案)の改善をする。 *各自の学習指導案Ver.1をグループワークによる模擬授業を経て改善を加え学習指導案Ver.2として指示された期限までに指導案(精案)を提出する。その際、改善点についての考察を課題レポートとして添付する。
第13回	グループワークによる模擬授業 総合 ・第11回で学んだことを本授業で実践し、再度理解するとともに、遠隔・オンライン教育の意義や関連するシステムの使用法を理解している。	事前学習	グループ毎に模擬授業の準備と予行演習をする。準備には、情報機器の活用について検討する。
		事後学習	グループで実施した模擬授業の問題点を検討し、他の受講生から得たことを含め、自らの学習指導案(略案)の改善をする。 *各自の学習指導案Ver.1をグループワークによる模擬授業を経て改善を加え学習指導案Ver.2として指示された期限までに指導案(精案)を提出する。その際、改善点についての考察を課題レポートとして添付する。
第14回	グループワークによる模擬授業 道徳 ・第11回で学んだことを本授業で実践	事前学習	グループ毎に模擬授業の準備と予行演習をする。準備には、情報機器の活用について検討する。授業後感想を提出する。

	し、再度理解するとともに、遠隔・オンライン教育の意義や関連するシステムの使用法を理解している。	事後学習	グループで実施した模擬授業の問題点を検討し、他の受講生から得たことを含め、自らの学習指導案（略案）の改善をする。 *各自の学習指導案 Ver. 1 をグループワークによる模擬授業を経て改善を加え学習指導案 Ver. 2 として指示された期限までに指導案（精案）を提出する。その際、改善点についての考察を課題レポートとして添付する。
第 1 5 回	どのような教師をめざすべきか(第 11 章) ・今後必要となる外部人材（機関）との連携の在り方や学校における ICT 環境の整備の在り方を理解するとともに、持続可能な社会の創り手である学び続ける教師像について理解する。	事前学習	教科書「第 11 章」(pp. 263～285) を読み、分からない部分をチェックしておく。
		事後学習	全 15 回の授業内容について整理し、筆記試験の準備を行う。
期末試験			